

## 協働事業提案書

NO. 6

1. 事業名	カラオケとふれあいの場「ミニディサロン」
2. 提案者	ニコニコ会
3. 事業の目的	<p>昼間使用していないスナックの場を無料で提供してもらう。      出合い、ふれあい、お互いに支えあうために地域福祉の拠点として、カラオケを中心とした心のふれあいの場所を作る。      閉じこもりをなくし、皆でワイワイガヤガヤと楽しく過ごす場所にする。</p>
4. 事業の内容	<p>カラオケを中心とした、心のふれあいを事業の中心とし、誰でもがきか気軽に参加出来る場所を作り、将来的には、大和市内の各駅の近くに1ヶ所ぐらいの場所が出来るように協力者の輪を広げるよう努力したい。      (言語に障害のある方のカラオケを使ってのりハビリ、又は、グループホームの方などの行事の一つとして、又、高齢者と買い物に出かけた時の休息所としてなど)</p>
5. 提案の理由	<p>個人で行動してみてわかったことは、サロンが個人の間を借りて事業を行う場合、行政の協力を得ようと思っても、なかなか思うように実行できない面がある。      又、協働事業として協力してもらうことにより、高齢者、障害者等の対象者に安心して参加できる場としたい。</p>

<p>6 . 市に期待する 役割</p>	<p>① . 情報の提供・共有    2 . 活動場所の提供  3 . 広報活動    4 . 説明会等への参加  ⑤ . 行政機関等との連絡調整  6 . その他  ご自由にお書き下さい。</p> <p>行政内の担当部署に対する広報活動</p>
<p>7 . 事業期間</p>	<p>無期</p>
<p>8 . 事業に要する 経費</p>	<p>特別に必要なし</p>
<p>9 . 事業の効果</p>	<p>閉じこもりの減少。  障害者等の積極的な外出。  高齢者の仲間作りなど。</p>
<p>10 . その他</p>	